

## 2020年3月の基準価額の下落について

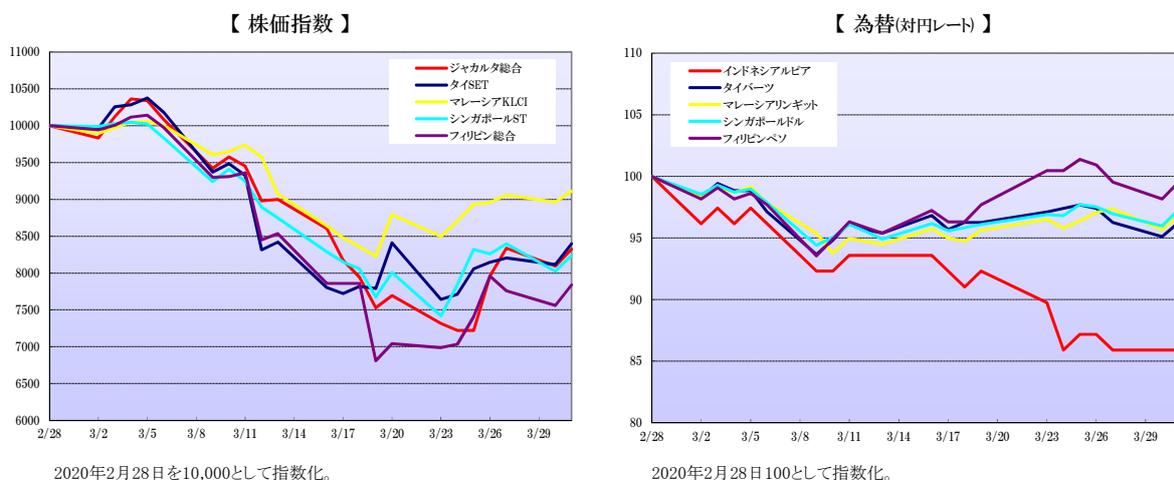
### 1. 対象ファンド

ファンド名	3月末 基準価額	1ヵ月 騰落率	3ヵ月 騰落率
朝日ライフ・MSCI・グローイング・アセアン株式ファンド	5,879円	▲27.18%	▲35.98%

※騰落率は、税引前分配金を再投資したものと仮定して計算しています。換金時の費用、手数料等は考慮しておりません。

※2020年3月末の基準価額が「1か月前の基準価額より15%以上下落」かつ「3か月前の基準価額より20%以上下落」したファンドを対象としています

### 2. アセアン株式市場の概況等



3月のアセアン株式市場について、前半は米国の緊急利下げなどの金融緩和策を背景に上昇する局面も見られましたが、OPEC(石油輸出国機構)とロシアなどの非加盟国の協調減産協議が決裂したことから原油価格が急落すると株価も反落しました。その後もWHO(世界保健機関)のパンデミック(世界的大流行)宣言や米国による欧州からの渡航制限などを受けて大幅下落しました。後半は、米国が今月2度目となる緊急利下げ、東南アジア諸国も金融政策を発表しましたが、新型コロナウイルスが感染拡大する中、金融政策だけでは経済への打撃を和らげるには不十分であるとの見方が広がったことなどから続

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2004237

落しました。米国の 2 兆ドル(約 220 兆円)規模の新型コロナウイルス景気対策法案の成立が近いとの期待から反発する局面も見られましたが、月間を通しては大幅に下落して月末を迎えました。

国別に見ると、中旬に首都マニラが所在するルソン島を事実上封鎖すると発表したフィリピン下落が目立ちました。

為替市場は、当ファンドで投資している全ての国の通貨が対円で下落しました。特にドル資金が逼迫する中で経常赤字国であるインドネシアルピアの下落が目立ちました。

### 3. 今後の見通し

米国や欧州での新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、中国以外の国・地域における感染拡大が収束するには依然として時間を要すると思われること、世界各国での都市封鎖や外出禁止令などの措置の経済に与える影響が日増しに高まっていることから、当面アセアン株式市場も変動性の高い相場展開が続くと見込んでいます。但し、①各国中銀が金融市場や企業の資金繰りを下支えするために最大限の措置を講じていること、②各国政府から大規模な景気刺激策が打ち出されていること、③米国や欧州の一部の国で新型コロナウイルスの流行がピークを越えつつあるとの見方が広がっていること、④株式市場のバリュエーションについても、アセアン株式市場の PER(MSCI AC ASEAN 指数ベース、今後 12 カ月予想)が、3月下旬に一時 10.4 倍まで低下しましたが、この水準は欧州債務問題や米国の連邦債務上限引上げに関する混乱などによって世界景気への不透明感が強かった 2011 年の最も低い水準よりも低く、株式市場は新型コロナウイルスの影響を既に相当程度織り込んでいることから、今後は徐々に落ち着きを取り戻すと予想しています。

今後も短期的には株式・為替市場において変動性が高まるリスクに一定の留意はすべきと考えますが、アセアン市場が中長期的に高水準な経済成長と、それに伴う企業業績の成長が期待できる市場であるとの弊社の見方に変更はありません。

以上

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、当社といいます）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2004237

## ■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

## ■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 5.5%(税抜 5.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<販売会社>



東海東京証券

商号等/東海東京証券株式会社

金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号

加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<設定・運用>



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

商号等/朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号

加入協会/一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2004237